

如_二月之恆_一。如_二日之升_一。如_二南山之壽_一。不_レ騫不_レ崩。如_二松柏之茂_一。無_レ不_レ爾或_レ承_一。
月_ツの恆_ツの如_ク、日_ヒの升_ルが如_シ。南山_{ナンザン}の壽_{シユウ}の如_ク、騫_カけず崩_{クツ}れず。松柏_{シヨウハク}の茂_{シゲ}るが如_ク、爾_{ナンヂウ}に承_ウくること或_カらざる無_シ。

君王の徳が盛んで國が榮えて行くことは、丁度月が始終輝いて居るやうであり、また日が昇つて來るやうな有様である。南山といふ山は周の都の南の方にあつて、非常に山の形もよく、また木も多く茂つて居るので、王室の盛んなのを祝するのに此の南山といふものを譬へに取られるのでありますが、その南山の如くに騫_カけず崩_{クツ}れずして、此の國も永く榮えて行くであらう。また松柏の茂つて居るやうに、これは常盤木であるから冬になつても葉が落ちないで始終茂つて居るが、その始終茂つて居る通りに國も案えて、多勢の役人でも人民でも皆王の意を承けて王の心持と一致するやうに骨を折らない者は、一人も無いといふ有様である。斯の如くに人民が満足して居るのは、全く君王の徳が盛んであるからなので、自分達の満足して居る心持を述べ

て君王の徳を頌するのであります。